

# 仙台市BOSAI-TECHイノベーション 創出促進事業

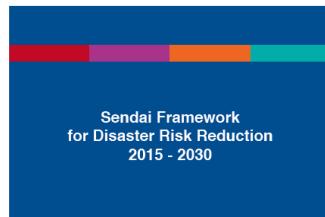
仙台市経済局産業振興課

# 仙台防災枠組2015-2030

## ●第3回国連防災世界会議（2015年3月開催）

幾多の災害から日本が得た教訓、防災技術・ノウハウ等の発信。

国際的な防災の取組指針「仙台防災枠組2015-2030」を採択。



## ●持続可能な開発目標（SDGs）（2015年9月決議）

ターゲット11.b（抜粋）

『2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靭さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。』



# 仙台市経済成長戦略2023（2019年～2023年）

取り組みの視点

ウイズコロナによる  
地域経済の再生と変革

地元企業や産業の  
競争力強化

経済成長と  
社会的課題解決の両立

東北の  
持続的発展への貢献

数値目標

2023年度までに黒字企業割合50%超

2つの感染症対策プロジェクトと7つの重点プロジェクト

地域経済の再生と  
新たな挑戦

地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

経済環境の変化を踏まえた変革の促進

地元企業の更なる成長促進

「地域リーディング企業」を生み出す  
徹底的集中支援の推進  
(意欲ある中小企業の成長促進)

ローカル経済循環を拡大する  
「地消地産」の推進  
(中小企業の持続性向上・域内経済循環促進)

イノベーションによる新たな成長の促進

Society5.0を実現する  
「X-TECHイノベーション都市・仙台」  
(ICTによる地域産業の高度化)

東北の豊かな未来を創る  
「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」  
(起業支援の新たなステージへ)

次世代放射光施設設立地を最大限に生かす  
「光イノベーション都市・仙台」  
(次世代放射光施設の利活用促進)

- 社会課題をICTを用いて解決とともに、ICT産業の振興を行う。
- そのうちのひとつが仙台市BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業。

地域経済が成長する  
ための基盤づくり

ダイバーシティ経営と人材確保  
(多様な人材が中小企業で活躍する社会へ)

仙台・東北のポテンシャルを高める基盤づくり  
(企業誘致推進・東北自治体とのネットワーク強化)

持続的な経済成長

目指す姿

仙台・東北で暮らす人々が豊かさを実感できる未来

# 仙台市BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業

## 仙台防災枠組

世界の災害リスク削減 の実現

## 仙台市経済成長戦略2023

- ・東日本大震災の教訓を踏まえた防災環境都市作り
- ・Society5.0を実現する  
「X-Techイノベーション都市仙台」の実現

経済面からの視点で、BOSAI-TECH（防災×IT）分野での新事業創出を支援

## BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業

新事業創出の  
プログラム  
(2019年度・開始)

BOSAI-TECHプラットフォーム  
事業創出の活動母体  
(2022年2月3日設立)

+

# 仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム

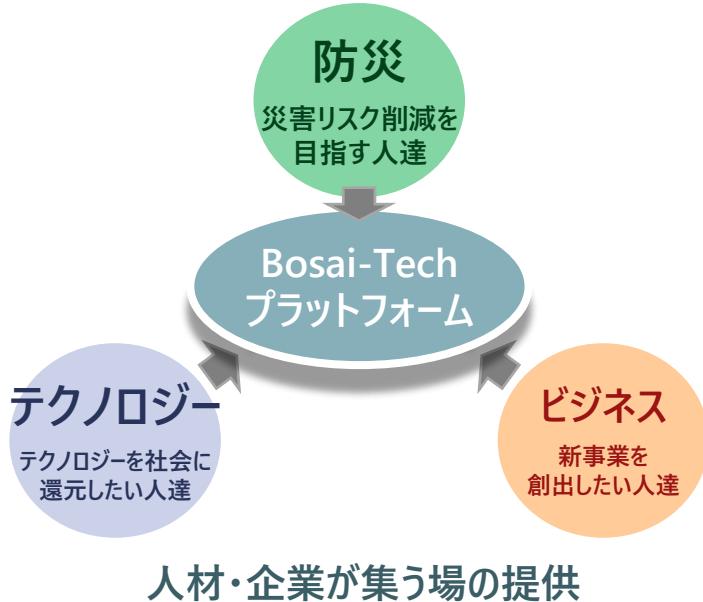


## ■プラットフォームの目指す姿

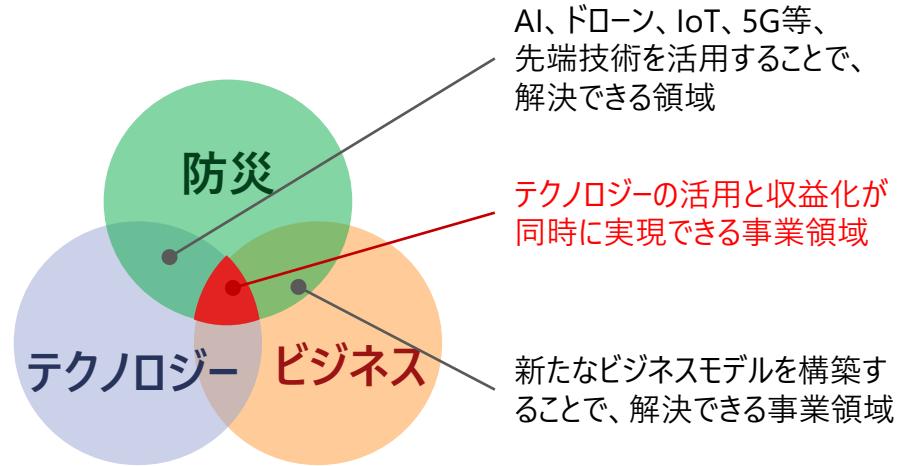
『仙台防災枠組』の実現を目指し、  
【防災】×【テクノロジー】×【ビジネス】を融合した  
新たな解決策を生み出す場となり、  
その解決策を仙台、日本全国、世界へと展開する

2022年2月3日にプラットフォームが設立されました。  
(2023年2月28日時点で164の団体に参画いただいております)

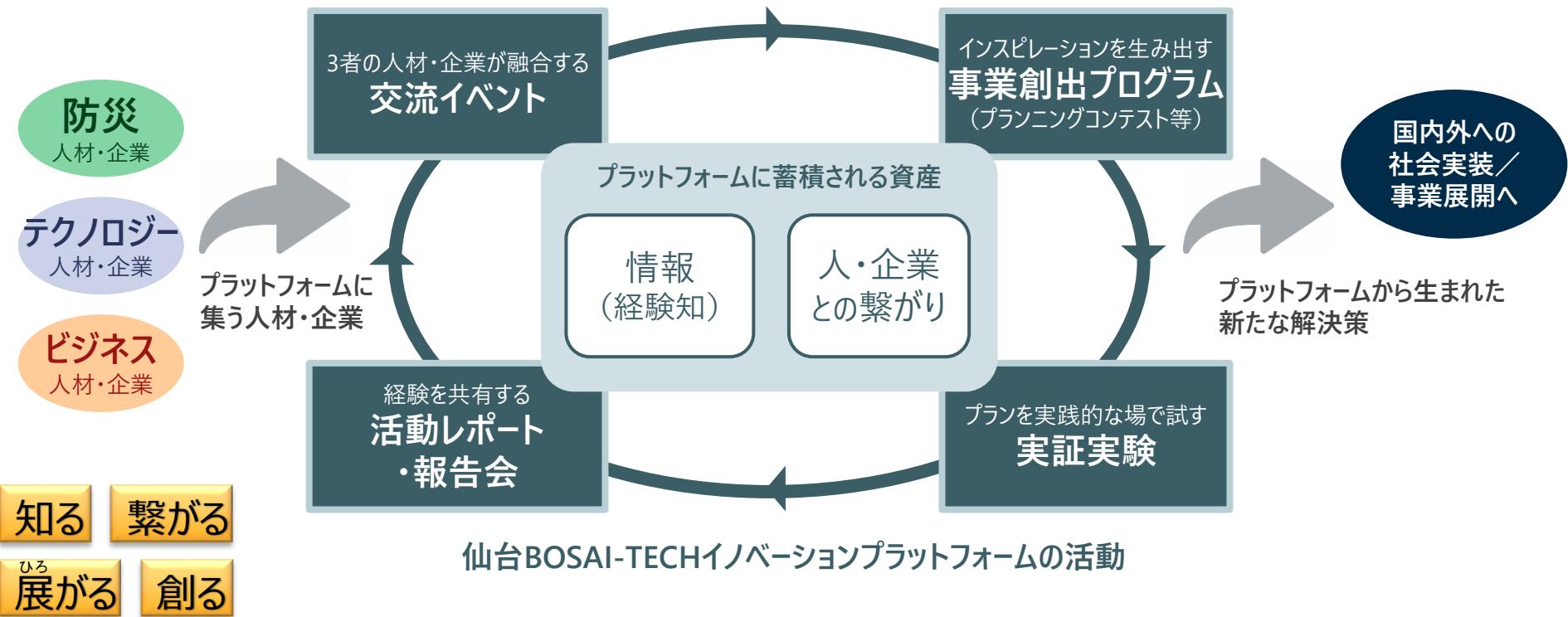
# プラットフォームのコンセプト



## ■プラットフォームで創出する解決策の領域



# プラットフォームの活動内容



# これまでの主な成果

## 津波避難広報ドローンの実装

自動運航ドローンによる津波避難広報及び専用LTE通信網によるドローン制御は世界初の事例

(令和4年10月実装)



## 各種防災ソリューションの実証実験

- ・避難所のデジタル受付システム
- ・AIカメラやセンサーによる避難所の状況把握システム
- ・ため池遠隔監視システム
- ・災害時物資受発注システム
- etc



# プラットフォームの活用（事例・実証の蓄積・共有）

## 実証実験の共有（例：ため池監視）

取り組み事例 | 実証実験

小型無線システムの画像監視による防災ソリューションの実証（ため池監視）  
NECプラットフォームズ株式会社

資料はこち  
ら

2022.03.15

| IoT、センサー | 事例 | 実証実験サポートプログラム（2期） |

## 企業の取組紹介・コンタクト

日本  
**ANDEX**  
アンデックス株式会社  
宮城県仙台市青葉区

担当者  
代表取締役  
三嶋 順（みしま じゅん）

ウェBSITEへ  
担当者にメッセージを送る

## 事例の共有（例：岐阜県大垣市における【防災×DX】）

岐阜県大垣市における【防災×DX】の取り組みについて

大垣市  
生活環境部危機管理室・主幹  
山田 芳弘  
Gcomホールディングス株式会社

新型コロナウイルス感染症により、これまでの避難所運営や防災訓練などについて大幅な見直しが求められています。そこで、デジタル技術を活用し新たな課題解決をすすめるため、「Urban Innovation Ogaki」という公民連携手法を活用し、どのように【防災×DX】に取り組んだのかを紹介します。特に、「並ばせない」、「迷わせない」避難所受付支援システムの開発及び実証実験について、連携企業から、詳しく紹介させていただきます。

プレゼン資料DL  
(大垣市)

プレゼン資料DL  
(Gcomホールディングス)

## 東北大学災害学研 今村所長 オンラインセミナー

BOSAI-TECH事業 ウェビナー説明会  
World Conference on Disaster Risk Reduction  
9th Session Japan

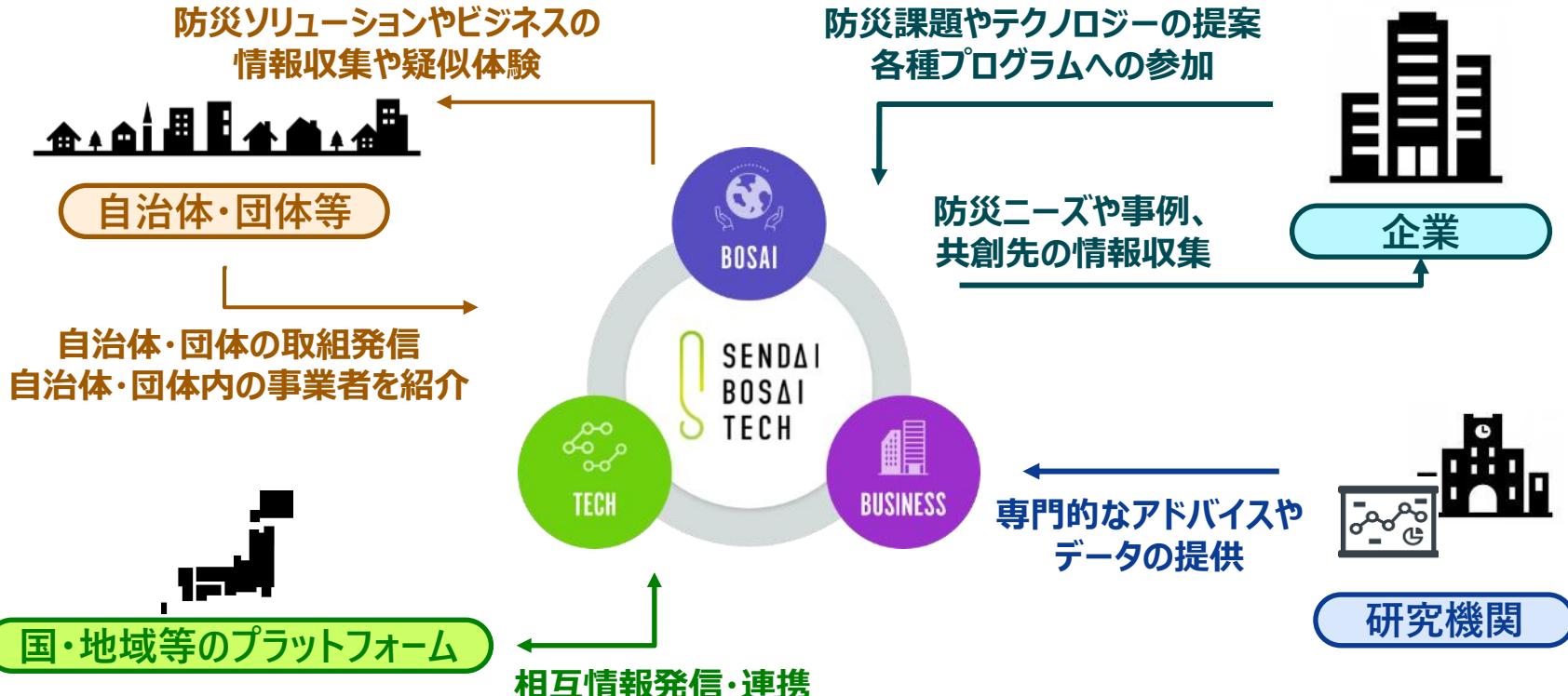
世界での防災の潮流について

World BOSAI Forum  
IDRC 2017 in SENDAI

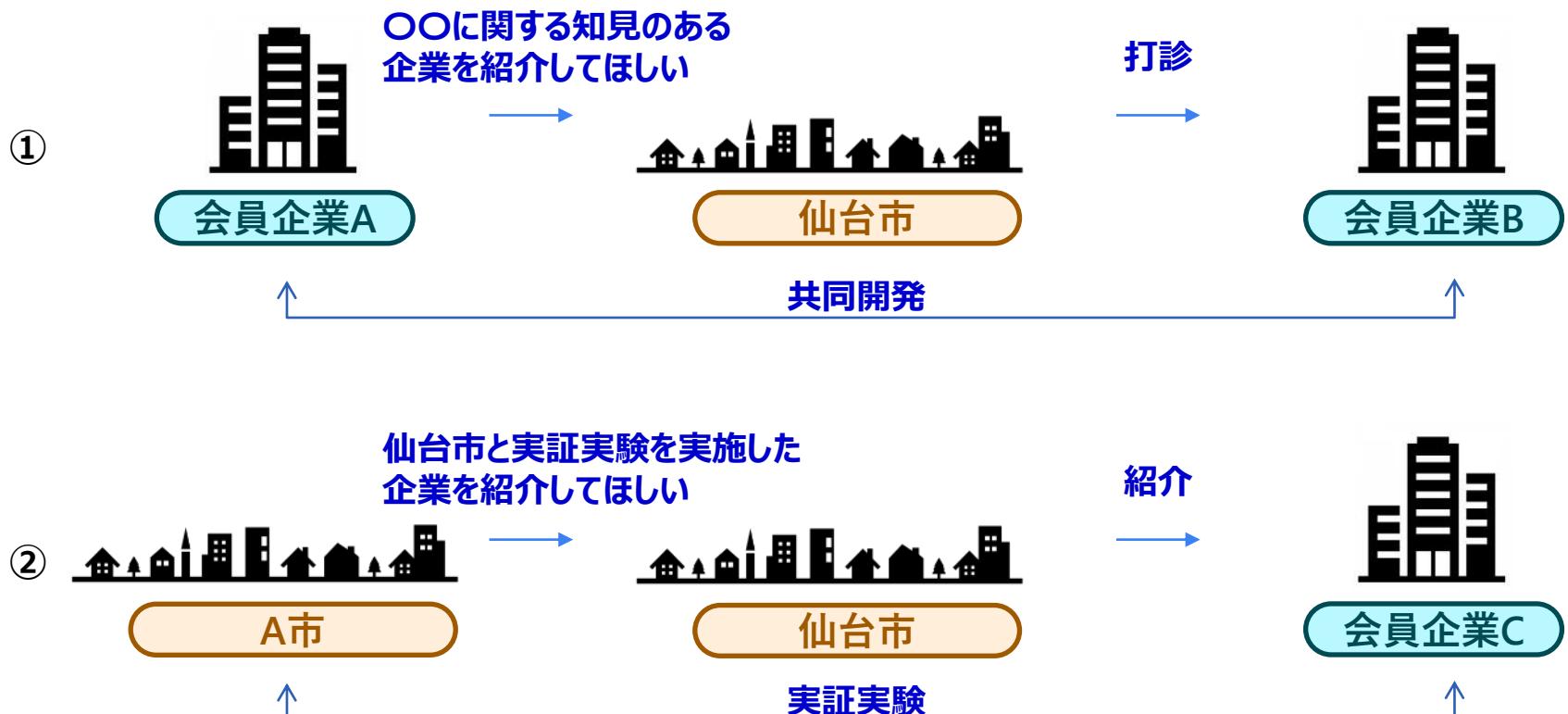
ISO  
TOHOKU UNIVERSITY  
IRIDeS

東北大学災害科学国際研究所  
所長・教授 今村文彦

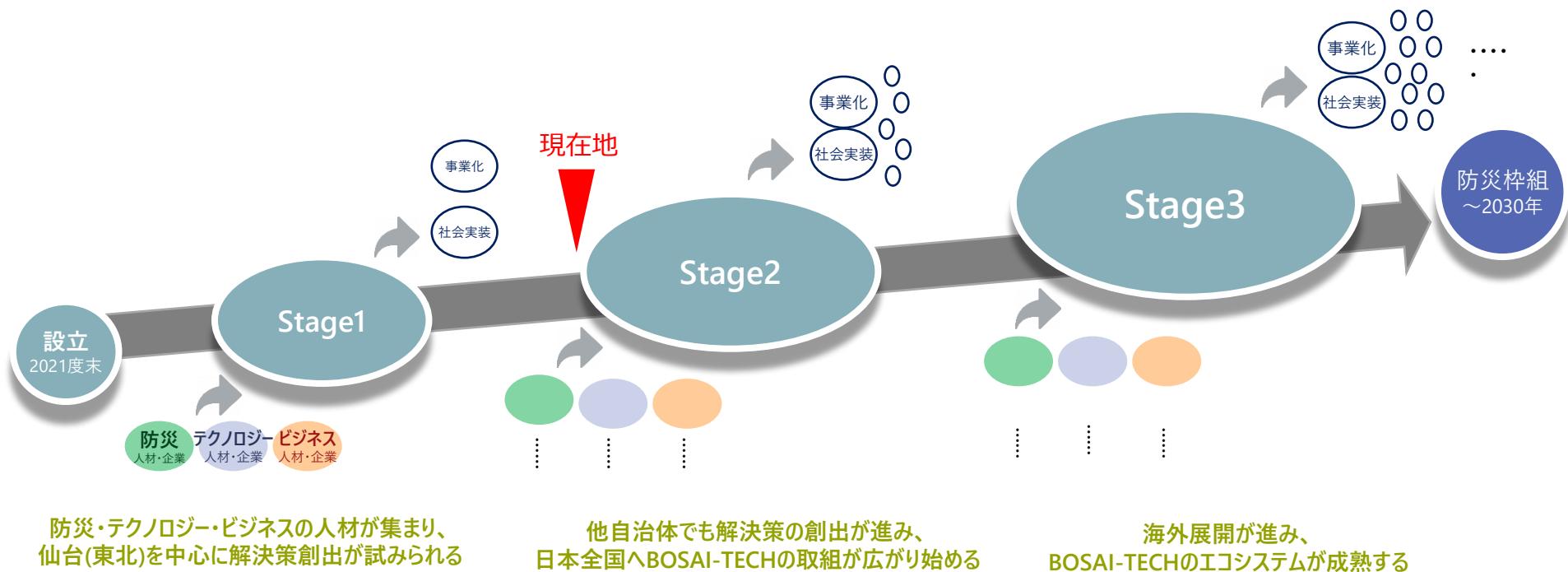
# プラットフォームの活用



# プラットフォームの活用例



# 仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォームのロードマップ



# 仙台BOSAI-TECH2022年度の活動紹介

仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム事務局

# 2022年度 プログラム概要 (1/2)

## 国内事業創出プログラム Future Awards2022

スタートアップやIT企業等の国内企業が対象。自治体の防災テーマに対して、テクノロジーを活用したソリューションを提案するプログラム。

説明会

2022年8月23日

募集期間

2022年8~9月末

## 海外展開支援プログラム Step Abroad! 防災・災害対策の技術・経験を海外へ

国際協力機構（JICA）を活用した海外展開のスキームをオンラインイベントと個別メンタリングを通じて提供するプログラム。

イベント

2022年11月2日

メンタリング

2022年11月～  
2023年2月末

## 実証実験 サポートプログラム

防災関連のソリューションや事業アイデアの実現に向けた実証実験に取組む仙台BOSAI-TECHの会員企業を対象に費用援助を中心に支援するプログラム。

募集 第1期

2022年7～8月

募集 第2期

2022年9～10月

# 2022年度 プログラム概要 (2/2)

## 情報発信イベント BOSAI-TECHカンファレンス

仙台BOSAI-TECH会員によるPRや  
BOSAI-TECHの最新の取り組み事例を  
紹介するイベント。

開催日

2023年3月7日

## 事業化支援プログラム

2021年度の仙台BOSAI-TECHプログラム  
参加企業への継続支援。

支援期間

2023年3月まで

## 交流イベント 仙台BOSAI-TECH Lounge

BOSAI-TECHに関心のある方々の交流  
を目的とした、座談会やセミナーなど、  
様々な形での単発イベント。

開催頻度

2カ月に1回程度  
不定期開催

# 海外展開支援プログラム『Step Abroad!』

国際協力機構（JICA）の支援事業を活用した海外展開に関する情報を提供し、海外展開を目指す企業に対して専門家が伴走支援をしました。

1

## オンラインイベント

セミナー



質問会



JICA支援事業の  
概要・過去の事例\*を知る  
\*（株）インフォマティクス、奥山ボーリング（株）

【参加者：35名】

JICA・JICA支援事業を  
活用した企業による質疑応答

【参加者：10名】

2

## 個別メンタリング



イベント後日、より詳しい相談を希望する方に、  
個別メンタリングを実施

【相談社数：4社】

# 実証実験サポートプログラム

BOSAI-TECH領域（防災×テクノロジー×ビジネスを融合させた領域）での事業創出や社会実装を進めるための実証実験にかかる費用を支援しました。

募集時期	採択企業	実証実験の概要
第1期	東京海上日動火災保険	ミライロIDを活用した要支援者向け避難支援パッケージの実証実験
第2期	メディアトライ	コミュニティFM放送の電波を利用した遠隔解錠キーボックス
	JX通信社	リスク関連情報収集サービス「FASTALERT」と「NewsDigest」を利用した地域防災力向上・地域活性化
第2期	東北大学災害科学国際研究所（津波工学）	沿岸部施設への常設型津波避難バルーン導入事業

# 仙台BOSAI-TECH Lounge

2022年度からイベントシリーズとしてBOSAI-TECH Lounge（ラウンジ）という企画を開始しました。BOSAI-TECHに関心のある方々の交流や情報収集の場として、セミナーや座談会を不定期開催しています。



## #1 会員限定交流会（8/9開催）

- ・過去プログラムの参加企業の事例紹介
  - ・会員同士のオンライン交流イベント
- 登壇企業：情報整備局、プライムバリュー株式会社

## #2 自治体向け座談会(9/27開催)

- ・自治体の“避難所運営のリアル”を知ろう!!
- 登壇自治体：塩竈市、利府町、神戸市

## #3 会員共催セミナー（11/22開催）

- ・日本防災プラットフォーム（JFP）共催セミナー

## #4 セミナー＆座談会(12/21開催)

- ・災害時の食と栄養
- 登壇団体：味の素ファンデーション、丸森町など

## #2.座談会～自治体の“避難所運営”的リアルを知ろう～

地形や人口、災害課題が異なる複数の会員自治体をゲストにお呼びし、避難所運営をテーマにした座談会を実施しました。また各自治体の取り組みや課題について意見交換をしていただく様子を一般公開しました。



登壇者

宮城県塩竈市、宮城県利府町、兵庫県神戸市

参加  
申し込み

申込者：61名 参加者：45名

イベントの様子

**塩竈市**  
Shiogama City

所在地 宮城県中央部

人口 52,697人（令和4年8月末日時点）

特に対策の必要な災害 地震、津波、台風

市の特徴

- ・ 調査特任会、安速宮神社は伝統古文化の重要文化財
- ・ 特定第三種河川「塩竈川」
- ・ 名所・名物は、塩竈神社、製鹽社製品など

**利府町**  
Rifu town

所在地 宮城県中央部

人口 約36,000人

特に対策の必要な災害 地震、津波、台風、大雨（土砂災害・浸水害）

町の特徴

- ・ 西部に市街地、東部に森林
- ・ 西は行政指定都市利府町の都
- ・ 東の海に面する日本三景・利府の海岸
- ・ 3つのJR駅と4つのインターバス停

**神戸市**  
UNESCO City of Design

所在地 兵庫県南部

人口 約151万人

特に対策の必要な災害 地震、津波、大雨・洪水、土砂崩れ

市の特徴

- ・ 政令指定都市、国内主要都市とアクリス良好
- ・ 南は播磨内海に面し市街地が伸び、北部は六甲山がそびえ立つ農村が広がる。山と海が並び立っている。
- ・ 空気が澄んでいて、冬は温暖、年間雨量が少ない。
- ・ 名所・名物は、有馬温泉、夜景、神戸ビーフ、旧居留地等

# #3.会員共催セミナー ～日本防災プラットフォームの取組と海外展開事例～

仙台BOSAI-TECH会員である日本防災プラットフォーム（JBP）と共にセミナーを開催し、JBPの活動紹介や海外展開に取り組む会員企業様の事例発表を行っていただきました。



登壇者

日本防災プラットフォーム（JBP）と  
JBP会員企業様5社

参加  
申し込み

申込者：28名 参加者：19名

イベントの様子

JPBとは

国内外の自然災害による被害削減のため  
企業の事業を通じた貢献を推進します  
(2014年6月発足)

JPB Japan BOSAI Platform

「日本の防災技術の窓口」  
として活動する民間企業の集まりです  
The focal point of DRR technology in Japan

株式会社チャレンジ

- 緊急地震速報装置・システムの開発・製造・販売
- JBP活動等による国際機関・海外政府との  
関係構築を生かし海外展開

# #4.座談会～いざという時どうする？災害時の食と栄養～

仙台BOSAI-TECH会員である味の素ファンデーションの齋藤様によるご講演に加え、2019年台風19号で被災した宮城県丸森町とその支援を行った（一社）OPEN JAPANの方々に官民連携の事例をご紹介いただきました。



登壇者

味の素ファンデーション、宮城県丸森町  
一般社団法人OPEN JAPAN

参加  
申し込み

申込者：37名 参加者：28名



# THANK YOU!



SENDAI BOSAI TECH